



5月15日(金) 昼の部

東京・埼玉・栃木・茨城・秋田・宮城・岩手・青森

5月18日(月) 昼の部

神奈川・千葉・群馬・静岡・山梨・長野・新潟・山形・福島

国立劇場[大劇場] 昼の部12時30分開演(11時30分開場)

一等A席7,400円・一等B席6,400円・二等席3,600円・三等席2,250円

お申し込みは、年金者組合
各県本部または支部役員まで



上沢美咲

松涛喜八郎

柳生啓介

妻倉和子

西川かづこ

姉川新之輔

益城 宏

山崎辰三郎

嵐 圭史

中村梅之助

山崎竜之介

嵐 市太郎

松浦海之介

新村宗二郎

藤井偉策

上滝啓太郎

生島喜五郎

渡会元之

早瀬栄之丞

愛を疑つてはならない——
清純かつ痛切なラブストーリー

ばんちょうさらやしき

番町皿屋敷

岡本綺堂||作
寺崎裕則||演出

多くの新歌舞伎作品を残し、小説「半七捕物帳」でも知られる、岡本綺堂の名作。旗本・青山播磨とそれに仕える腰元・お菊との身分を越えた純愛を、世に知られる皿屋敷伝説を素材にして、怪談とは全く異なる、優く美しいラブストーリーに仕立てています。お菊をはじめ、従来は女形を当ててきた役に女優を起用。稀有な美しい愛の寓話を現代に蘇生する舞台にご期待下さい。

【あらすじ】播磨（嵐芳三郎）とお菊（今村文美）は、主従の関係を越えて愛し合い、播磨はお菊を妻に迎えるつもりでいます。しかし、播磨にもたらされた縁談話を知り不安になつたお菊は、割れば手討との揃のある家宝の皿をわざと割つて、播磨の本心を確かめようとします。粗相して皿を割つたと聞いて播磨は、お菊を許しますが、実は自分の愛を試された事実を知つて……。

江戸っ子たちの心根が沁みる
おかしく、しみじみ、晴れやかな舞台

ぶんしちもつとい

文七元結

三遊亭圓朝||原作
平田兼三||脚色

落語でもお馴染み、三遊亭圓朝の人情噺を芝居にした、笑いと涙にあふれた傑作。前進座では、一九五八年の初演以来、八百回を超えて上演されてきた人気演目です。いじらしい真心に泣き、引っ込められない意地に笑い、いかにも江戸っ子らしい登場人物たちが繰り広げる心うるおす一幕をお楽しみいただきます。

【あらすじ】左官の長兵衛（藤川矢之輔）は、腕はいいが遊び好き、バクチと酒にかまけて稼業はほつたらかし。女房お兼（河原崎國太郎）との間には喧嘩が絶えません。娘お久（本村祐樹）は、そんな不和に心を痛めて、自ら吉原の遊女屋佐野槌に身を売つて金を稼ぎます。娘の孝行に打たれた長兵衛は、すつかり目が覚め、懸命に働いて一年のうちに迎えにくると誓い、佐野槌から五十両を借り受けます。その帰り道、身投げしようとしている若い男文七（忠村臣弥）を助けるのですが……。

2015年 全日本年金者組合合同観劇会

5月15日(金) 昼の部

東京・埼玉・栃木・茨城
秋田・宮城・岩手・青森

5月18日(月) 昼の部

神奈川・千葉・群馬・静岡・山梨
長野・新潟・山形・福島

お申し込みは、年金者組合各県本部または支部役員まで

国立劇場[大劇場] 昼の部12時30分開演(11時30分開場)
一等A席7,400円・一等B席6,400円・二等席3,600円・三等席2,250円

